

令和7年度 社会環境浄化事業 店舗利用調査結果（概要版）

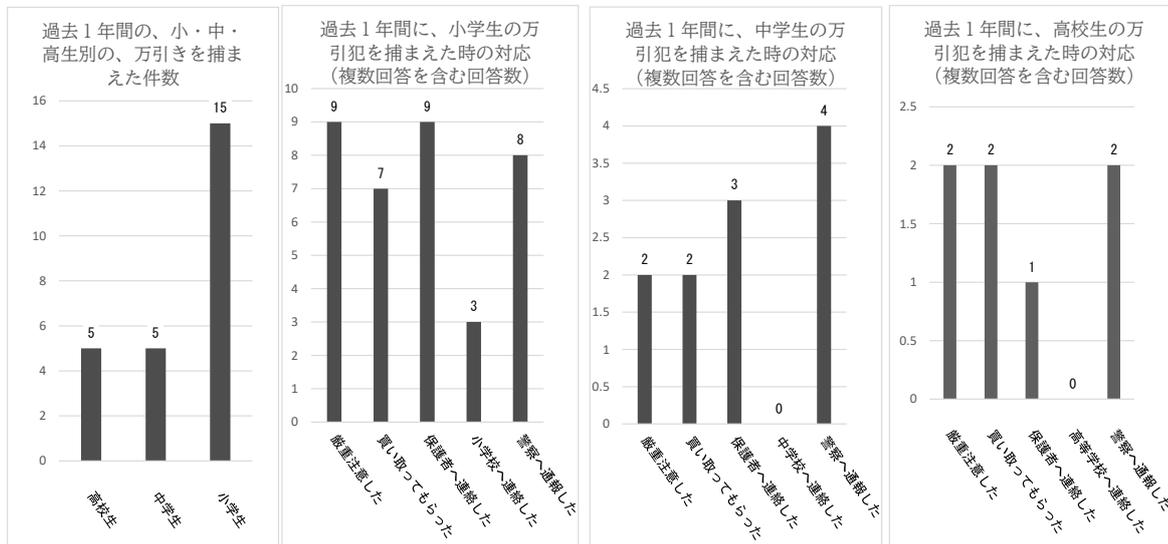
青少年の店舗利用状況を把握するためのアンケート調査で、調査期間は令和7年8月から9月末です。

最近（概ね過去1年間）の小中高生の動向調査になります。ご協力いただいた店舗の皆様、調査を行ってくださった実行委員の皆様には、厚く御礼申し上げます。

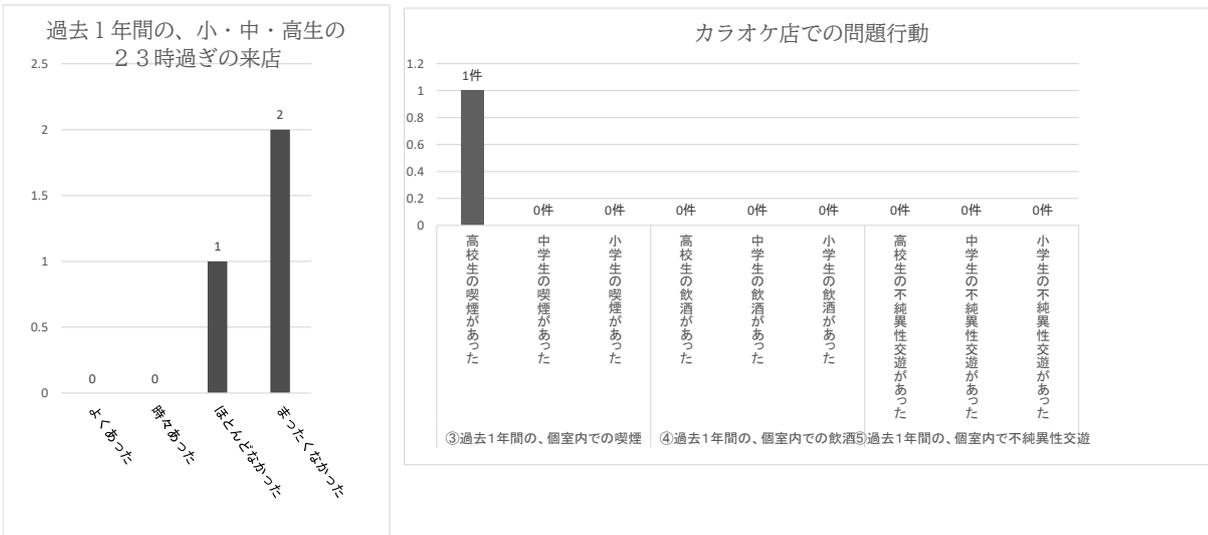
調査店舗の業種別店舗数

業種	店舗数	回答数
生活雑貨店	5	3
コンビニエンスストア	39	22
スーパーマーケット	14	9
ドラッグストア	13	8
量販店	1	0
個人商店	3	1
書店	7	7
飲食店	11	5
ゲームセンター	3	3
映画館	1	0
浴場業	1	1
古物商	1	1
カラオケ店	3	3
携帯電話店	1	1
合計	103	64

万引きについて

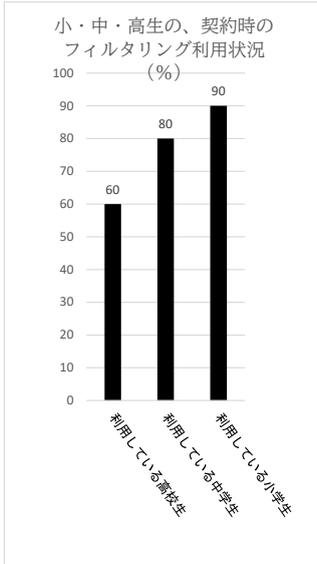


カラオケ店の利用状況



なお、23時に来店したケースは今回の調査で3件確認されたが、いずれも条例で入場が禁止されていることを説明し、退店をお願いした。

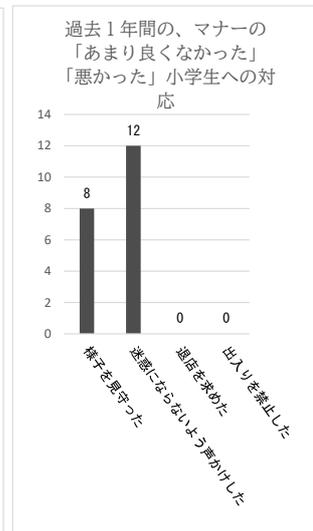
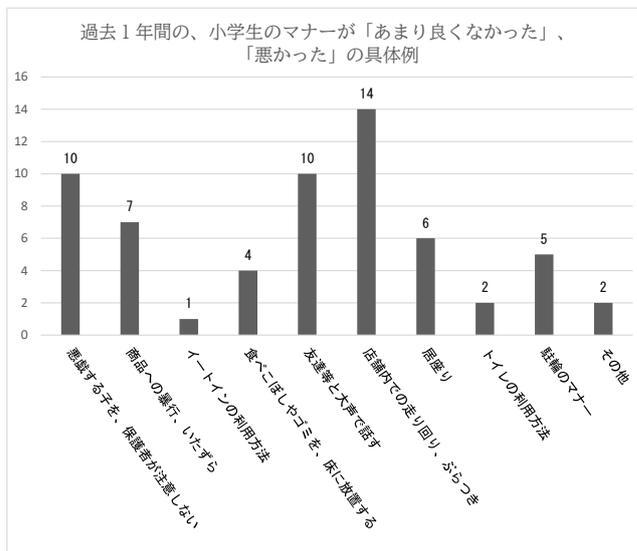
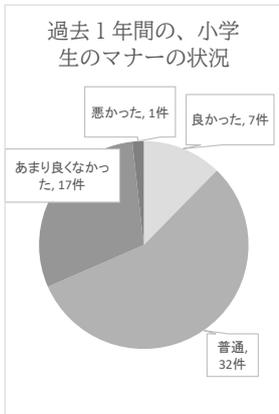
携帯電話店の利用状況



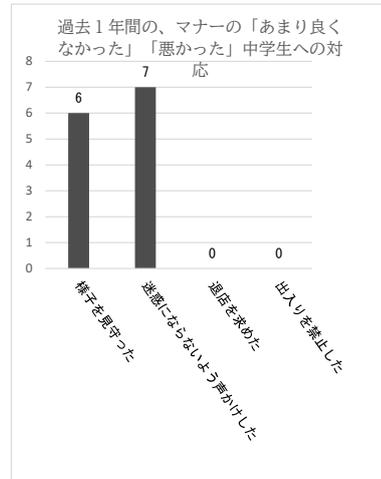
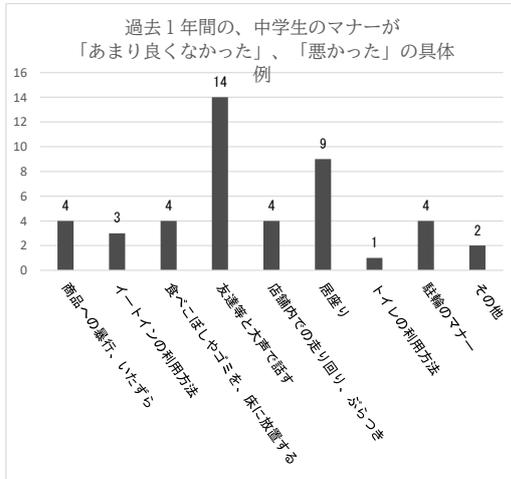
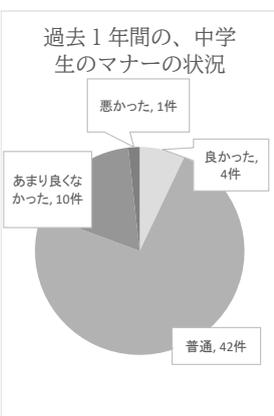
決済時のトラブル

バーコード決済において、両親のアカウントに知らない請求が送られてくる事例があった。

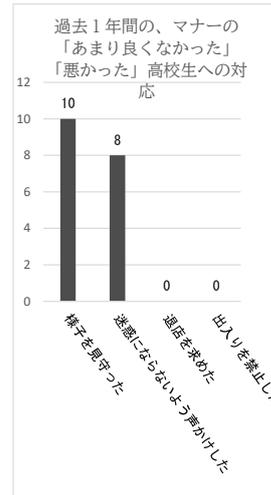
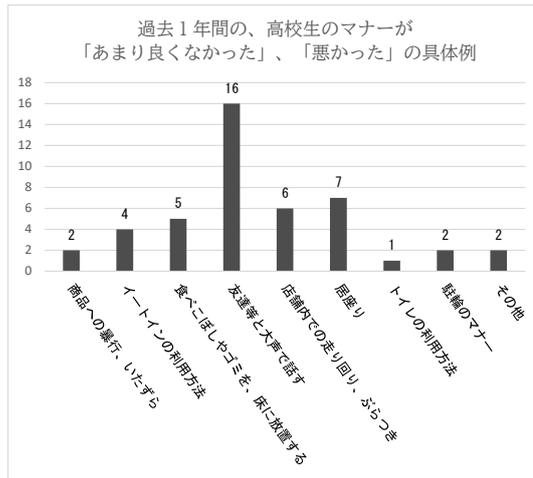
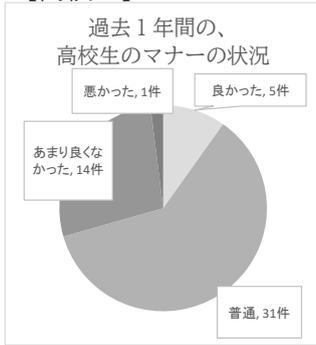
小売店マナー関連【小学生】



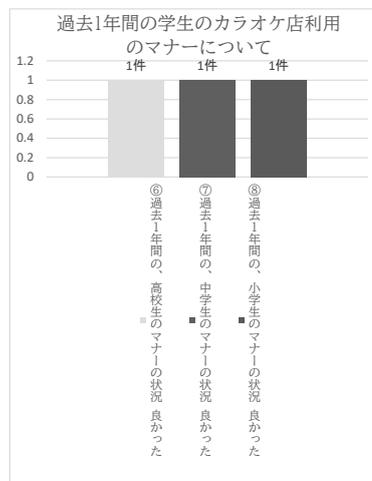
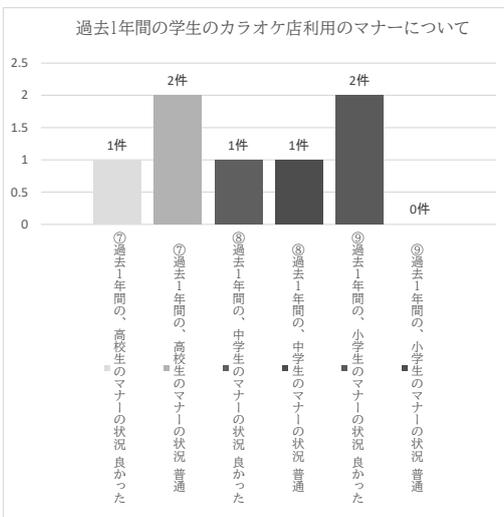
【中学生】



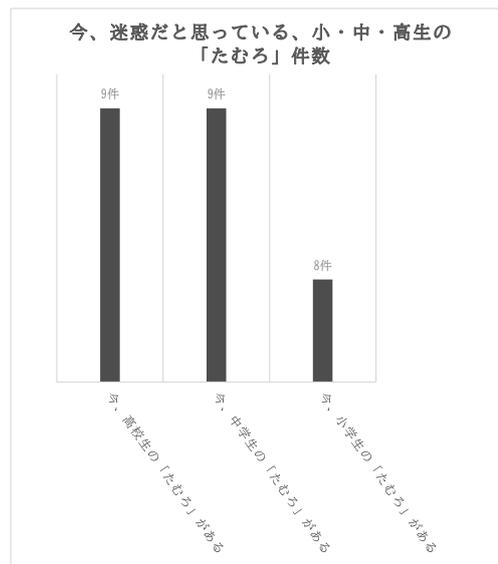
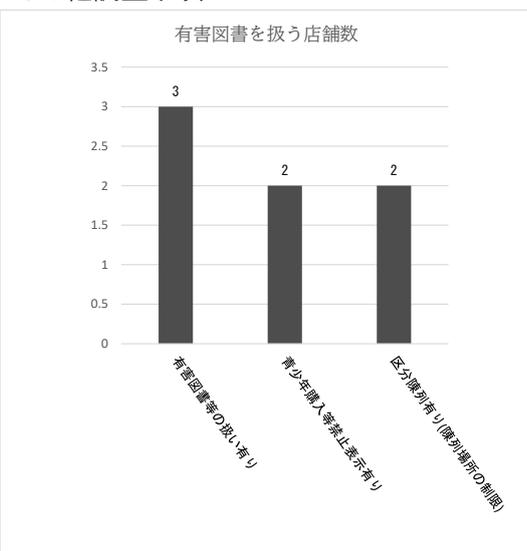
【高校生】



カラオケ店、携帯電話販売店マナー関連



その他調査事項



※なお、有害図書の冊数については111冊
確認された